



2021年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月8日

上場会社名 マニー株式会社
 コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 齊藤 雅彦

問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役副社長 (氏名) 高橋 一夫

TEL 028-667-1811

定時株主総会開催予定日 2021年11月24日

配当支払開始予定日

2021年11月10日

有価証券報告書提出予定日 2021年11月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期の連結業績(2020年9月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	17,190	13.1	5,348	23.2	5,679	28.4	4,291	28.9
2020年8月期	15,200	17.1	4,340	26.0	4,424	22.2	3,329	45.4

(注) 包括利益 2021年8月期 4,801百万円 (52.7%) 2020年8月期 3,144百万円 (11.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	43.60		11.3	13.9	31.1
2020年8月期	33.83		9.3	11.2	28.6

(参考) 持分法投資損益 2021年8月期 13百万円 2020年8月期 21百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	42,693	39,202	91.8	398.29
2020年8月期	39,289	36,566	93.1	371.51

(参考) 自己資本 2021年8月期 39,202百万円 2020年8月期 36,566百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	6,384	3,438	2,232	18,057
2020年8月期	1,941	38	2,133	16,973

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期		11.00		11.00	22.00	2,165	65.0	6.0
2021年8月期		11.00		12.00	23.00	2,263	52.8	6.0
2022年8月期(予想)		12.00		13.00	25.00		61.7	

3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日～2022年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,944	7.7	2,692	1.0	2,554	6.8	1,771	12.1	18.00
通期	18,801	9.4	5,892	10.2	5,615	1.1	3,985	7.1	40.49

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期	106,911,000 株	2020年8月期	106,911,000 株
期末自己株式数	2021年8月期	8,484,459 株	2020年8月期	8,484,435 株
期中平均株式数	2021年8月期	98,426,548 株	2020年8月期	98,426,565 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(金額の表示単位の変更について)

当社の連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来千円単位で記載しておりましたが、当連結会計年度より百万円単位をもって記載することに变更いたしました。なお、前連結会計年度についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(連結貸借対照表関係)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18
4. その他	19
(1) 役員の異動	19
(2) その他	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（以下、「新型コロナ」という。）に伴う断続的な経済活動抑制の中、期末にかけて欧州地域を中心に持ち直しの動きが見られ景気回復が期待されておりましたが、新たな変異株ウイルスによる感染拡大の懸念も払拭されておらず、予断を許さない状況にあります。また、日本経済におきましても、ワクチン接種率の増加に伴い社会経済の回復の加速が見込まれておりますが、長期化する緊急事態宣言により景気が足元で大幅に下押しされており、引き続き先行きが不透明な状況となっております。

このような環境下、当社グループにおきましては、需要の拡大が見込まれる海外販売拠点を中心に、webを活用したマーケティング活動の強化に努めてまいりました。これらの結果、サージカル関連製品及びデンタル関連製品においては、主に中国及び欧州で増収となりました。一方、アイレス針関連製品においては、新型コロナの影響により病院での手術が制限されたことに伴い、製品需要が減少したこと等から減収となりました。

生産面については、ベトナムの生産拠点 MANI HANOI CO., LTD. において、地域が掲げる新型コロナの徹底した罹患リスク対策を遵守することで、工場内で感染者を発生させることなく生産活動を継続しております。生産技術面では、ベトナム現地拠点を主体として更なる生産効率化ならびに品質向上に努めてまいりました。

開発面においては、開発テーマの「選択と集中」による開発期間の短縮を最優先目標として掲げ、重要性の高いテーマへ効率的にリソースを集中させる仕組みの構築に努めてまいりました。また、連結子会社 Gesellschaft für dentale Forschung und Innovationen GmbH（以下、「GDF」という。）の共同製品開発プロジェクトも進めてまいりました。さらには中長期的には国内医師のみではなく、販売拠点の活動を通じて海外医師の声を取り入れることで、グローバルなニーズを反映した新製品開発を進めてまいります。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は 17,190百万円（前年同期比 13.1%増）、営業利益は売上高が増加したこと等により 5,348百万円（同 23.2%増）、経常利益は為替差益が前年同期より増加したことにより 5,679百万円（同 28.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は 4,291百万円（同 28.9%増）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。また、当連結会計年度から業績管理区分の見直しにより、従来「サージカル関連製品」、「デンタル関連製品」に含まれておりました針付縫合糸について、「アイレス針関連製品」に変更しております。そのため以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の区分に組み替えた数値で比較しております。

（サージカル関連製品）

国内において緊急事態宣言の長期化により売上が低調に推移したものの新型コロナからの回復の速い中国及び欧州において売上が増加したことから、売上高は 4,882百万円（前年同期比 10.7%増）となりました。また、売上高が増加したこと等により、セグメント利益（営業利益）は 1,557百万円（同 21.7%増）となりました。

（アイレス針関連製品）

中国を中心とするアジアで堅調に推移したものの、新型コロナの影響により不急の手術が制限されたことに伴い売上高は 5,044百万円（前年同期比 0.2%減）となりました。また、売上高が減少したこと等から、セグメント利益（営業利益）は1,545百万円（同 7.5%減）となりました。

（デンタル関連製品）

新型コロナの影響により国内において緊急事態宣言の長期化により売上が低調である一方、アジア及び欧州において売上が増加し、GDFにおいて北米への売上が好調であったことから、売上高は 7,262百万円（前年同期比 26.6%増）となりました。また、売上高が増加したこと等から、セグメント利益（営業利益）は 2,245百万円（同 61.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ 3,403百万円増加し、42,693百万円となりました。これは主に現金及び預金が増えたこと及び、新本社・R&Dセンター予定地(2,740百万円)の取得に伴い、土地が増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ 767百万円増加し、3,490百万円となりました。これは主に未払法人税等が増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 2,635百万円増加し、39,202百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

利益剰余金は、配当金2,165百万円があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益4,291百万円が計上されたことに伴い、39,750百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

	前連結会計年度 金額 (百万円)	当連結会計年度 金額 (百万円)	増 減 金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,941	6,384	4,442
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38	△3,438	△3,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,133	△2,232	△98
連結子会社の決算期変更に伴う現金 及び現金同等物の増減額	937	-	△937
現金及び現金同等物期末残高	16,973	18,057	1,083

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ 1,083百万円増加し、18,057百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、6,384百万円(前年同期比 4,442百万円増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3,438百万円(前年同期比 3,400百万円増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2,232百万円(前年同期比 98百万円増)となりました。これは主に、配当金の支払額が増加したこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

医療機器業界におきましては、国内外の医療機器を取り巻く環境は依然厳しく、今後も競争の激化が続くものと予想されます。このような環境におきまして、当社グループは、引き続き製品毎に且つその製品の特性毎に「世界一の品質」を目指し、「世界のすみずみへ」提供する方針のもと、開発本部・営業本部が一体となり、新製品開発及びマーケティングの強化を図ってまいります。

売上高については、サージカルは品質評価の高い眼科ナイフの売上増加を見込んでおり、また、デンタルは中国をはじめとする新興国市場での拡販活動による増加を見込んでおります。一方、前連結会計年度より懸案となっているアイレス針につきましては現状を維持し、売上は微増にとどまる見込みです。

在外連結子会社の営業体制強化により販売費及び一般管理費の増加が見込まれますが、売上高の増加に伴い営業利益が増加するものと予想しております。

以上の状況を踏まえ、次期の業績見通しにつきましては、次のとおり予想しております。

なお、予想の為替レートについては、1ドル=105円、1ユーロ=123円、1元=16円を見込んでおります。

連結業績予想

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり当期 純利益 (円)
2022年8月期 (予想)	18,801	5,892	5,615	3,985	40.49
2021年8月期	17,190	5,348	5,679	4,291	43.60
増減率 (%)	9.4	10.2	△1.1	△7.1	△7.1

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、それらを有効活用した成長戦略を押し進めることで積極的な株主還元を継続的に実現してまいります。内部留保資金は研究開発投資、生産設備投資、在外連結子会社の体制強化、及び販売マーケティング活動の強化に充てております。

当期の配当につきましては、当期業績を勘案しつつもこの方針に基づき、1株当たり23円(中間配当11円、期末配当12円)と決定させていただきました。

次期の配当につきましては、この方針及び業績見通しを勘案し、1株当たり25円(中間配当12円、期末配当13円)とする予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,175	18,287
受取手形及び売掛金	1,577	1,901
有価証券	—	608
商品及び製品	951	772
仕掛品	3,891	3,885
原材料及び貯蔵品	1,801	1,808
その他	790	369
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	26,186	27,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,894	8,400
減価償却累計額	△4,074	△4,366
建物及び構築物 (純額)	3,820	4,033
機械装置及び運搬具	10,724	11,385
減価償却累計額	△6,109	△7,178
機械装置及び運搬具 (純額)	4,615	4,206
工具、器具及び備品	1,481	1,616
減価償却累計額	△1,143	△1,294
工具、器具及び備品 (純額)	337	321
土地	1,132	3,873
建設仮勘定	447	672
その他	122	216
減価償却累計額	△60	△88
その他 (純額)	61	127
有形固定資産合計	10,415	13,235
無形固定資産		
のれん	166	73
ソフトウェア	20	24
その他	733	796
無形固定資産合計	920	895
投資その他の資産		
投資有価証券	1,311	387
繰延税金資産	255	350
保険積立金	183	177
その他	16	15
投資その他の資産合計	1,767	931
固定資産合計	13,103	15,062
資産合計	39,289	42,693

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	149	156
未払金	430	373
リース債務	44	69
未払法人税等	309	1,004
賞与引当金	441	462
火災損失引当金	98	—
その他	453	493
流動負債合計	1,928	2,559
固定負債		
リース債務	17	59
役員退職慰労引当金	92	102
退職給付に係る負債	536	582
資産除去債務	114	151
その他	33	35
固定負債合計	794	931
負債合計	2,723	3,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	988	988
資本剰余金	1,036	1,036
利益剰余金	37,624	39,750
自己株式	△3,125	△3,125
株主資本合計	36,524	38,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	41
為替換算調整勘定	△7	571
退職給付に係る調整累計額	△61	△60
その他の包括利益累計額合計	42	552
純資産合計	36,566	39,202
負債純資産合計	39,289	42,693

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高	15,200	17,190
売上原価	5,323	6,185
売上総利益	9,876	11,004
販売費及び一般管理費	5,535	5,656
営業利益	4,340	5,348
営業外収益		
受取利息	83	74
受取配当金	17	1
業務受託料	34	—
投資事業組合運用益	30	25
為替差益	92	305
作業くず売却益	10	15
その他	7	13
営業外収益合計	274	437
営業外費用		
支払利息	2	1
シンジケートローン手数料	15	3
業務受託費用	36	—
持分法による投資損失	21	13
自宅待機時休業補償等	113	59
外国付加価値税等	—	22
その他	2	5
営業外費用合計	191	106
経常利益	4,424	5,679
特別利益		
保険解約返戻金	42	40
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	657	107
関係会社株式売却益	—	48
受取保険金	29	171
特別利益合計	732	369
特別損失		
固定資産売却損	0	9
固定資産除却損	100	10
減損損失	22	—
固定資産撤去費用	—	13
役員退職慰労金	0	0
火災損失	201	12
特別損失合計	325	46
税金等調整前当期純利益	4,831	6,001
法人税、住民税及び事業税	1,372	1,772
法人税等調整額	129	△62
法人税等合計	1,502	1,710
当期純利益	3,329	4,291
親会社株主に帰属する当期純利益	3,329	4,291

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
当期純利益	3,329	4,291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△303	△70
為替換算調整勘定	△12	575
退職給付に係る調整額	124	1
持分法適用会社に対する持分相当額	5	4
その他の包括利益合計	△185	510
包括利益	3,144	4,801
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,144	4,801

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年9月1日 至2020年8月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	988	1,036	35,983	△3,125	34,883
当期変動額					
剰余金の配当			△2,066		△2,066
親会社株主に帰属する当期純利益			3,329		3,329
連結子会社の決算期変更に伴う増減			378		378
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,641	—	1,641
当期末残高	988	1,036	37,624	△3,125	36,524

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	415	214	△186	443	35,327
当期変動額					
剰余金の配当					△2,066
親会社株主に帰属する当期純利益					3,329
連結子会社の決算期変更に伴う増減					378
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△303	△222	124	△401	△401
当期変動額合計	△303	△222	124	△401	1,239
当期末残高	112	△7	△61	42	36,566

当連結会計年度（自2020年9月1日 至2021年8月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	988	1,036	37,624	△3,125	36,524
当期変動額					
剰余金の配当			△2,165		△2,165
親会社株主に帰属する当期純利益			4,291		4,291
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	2,125	△0	2,125
当期末残高	988	1,036	39,750	△3,125	38,650

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	112	△7	△61	42	36,566
当期変動額					
剰余金の配当					△2,165
親会社株主に帰属する当期純利益					4,291
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△70	579	1	510	510
当期変動額合計	△70	579	1	510	2,635
当期末残高	41	571	△60	552	39,202

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,831	6,001
減価償却費	1,320	1,444
減損損失	22	—
のれん償却額	91	97
受取保険金	△29	△171
火災損失	201	12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18	12
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12	10
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	84	44
受取利息及び受取配当金	△100	△76
支払利息	2	1
為替差損益 (△は益)	△77	△250
シンジケートローン手数料	15	3
持分法による投資損益 (△は益)	21	13
固定資産売却損益 (△は益)	△2	8
固定資産除却損	100	10
投資有価証券売却損益 (△は益)	△657	△107
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△48
投資事業組合運用損益 (△は益)	△30	△25
保険解約損益 (△は益)	△42	△40
売上債権の増減額 (△は増加)	723	△307
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,091	327
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△369	414
仕入債務の増減額 (△は減少)	△50	6
未払金の増減額 (△は減少)	△511	△27
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△165	55
その他	110	△43
小計	4,426	7,365
利息及び配当金の受取額	108	64
利息の支払額	△2	△1
保険金の受取額	55	145
火災損失の支払額	△32	△87
法人税等の支払額	△2,614	△1,103
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,941	6,384
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,221	△42
定期預金の払戻による収入	1,593	—
有形固定資産の取得による支出	△1,576	△3,794
有形固定資産の売却による収入	2	2
無形固定資産の取得による支出	△116	△67
資産除去債務の履行による支出	—	△3
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,170	186
関係会社株式の売却による収入	—	203
投資事業組合分配金による収入	56	29
保険積立金の積立による支出	△35	△35
保険積立金の解約による収入	88	83
その他	—	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38	△3,438

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△51	△63
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△2,065	△2,165
シンジケートローン手数料の支払額	△16	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,133	△2,232
現金及び現金同等物に係る換算差額	147	369
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△82	1,083
現金及び現金同等物の期首残高	16,119	16,973
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	937	—
現金及び現金同等物の期末残高	16,973	18,057

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結貸借対照表関係)

当座貸越契約及びコミットメントライン契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行3行と当座貸越契約を締結しております。

また、資金調達の機動性及び安定性の確保を図るため、取引銀行3行とコミットメントライン契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
当座貸越限度額及びコミットメントライン契約の総額	5,800百万円	5,800百万円
借入実行残高	—	—
差引額	5,800	5,800

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等の意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは製造販売体制を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「サージカル関連製品」、「アイレス針関連製品」、及び「デンタル関連製品」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要な製品は次のとおりであります。

報告セグメント	主 要 製 品 等
サージカル関連製品	手術用機器
アイレス針関連製品	手術用針付縫合糸用針、手術用針付縫合糸、手術用縫合針
デンタル関連製品	歯科用根管治療機器、歯科用回転切削機器、歯科材料

(報告セグメントの変更等に関する事項)

第1四半期連結会計期間から業績管理区分の見直しにより、従来「サージカル関連製品」、「デンタル関連製品」に含まれておりました針付縫合糸について、「アイレス針関連製品」に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は、主に製造原価に基づいております。

なお、資産については、事業セグメントに配分していませんので、記載を省略しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2019年9月1日 至 2020年8月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,409	5,053	5,737	15,200	—	15,200
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1	—	1	△1	—
計	4,409	5,054	5,737	15,201	△1	15,200
セグメント利益	1,279	1,671	1,390	4,340	—	4,340
その他の項目						
減価償却費	252	579	488	1,320	—	1,320
のれん償却額	—	—	91	91	—	91

- (注) 1. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
2. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

当連結会計年度（自 2020年9月1日 至 2021年8月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,882	5,044	7,262	17,190	—	17,190
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1	—	1	△1	—
計	4,882	5,046	7,262	17,191	△1	17,190
セグメント利益	1,557	1,545	2,245	5,348	—	5,348
その他の項目						
減価償却費	312	577	555	1,444	—	1,444
のれん償却額	—	—	97	97	—	97

- (注) 1. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
2. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度（自2019年9月1日 至2020年8月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	北米	欧州		アジア		その他	合計
		内、ドイツ		内、中国			
4,044	1,493	2,997	853	5,447	3,336	1,217	15,200

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	欧州	アジア		合計
			内、ベトナム	
3,725	144	6,545	6,226	10,415

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連セグメント名
国科恒遠（北京）医療科技有限公司	2,016	デンタル関連製品

当連結会計年度（自2020年9月1日 至2021年8月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	北米	欧州		アジア		その他	合計
		内、ドイツ		内、中国			
3,693	1,456	3,531	866	7,036	4,623	1,472	17,190

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	欧州	アジア		合計
			内、ベトナム	
6,254	291	6,689	6,363	13,235

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連セグメント名
国科恒遠（北京）医療科技有限公司	2,719	デンタル関連製品

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2019年9月1日 至2020年8月31日）

(単位：百万円)

	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品	全社・消去	合計
減損損失	22	—	—	—	22

当連結会計年度（自2020年9月1日 至2021年8月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2019年9月1日 至2020年8月31日）

(単位：百万円)

	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	91	—	91
当期末残高	—	—	166	—	166

当連結会計年度（自2020年9月1日 至2021年8月31日）

(単位：百万円)

	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	97	—	97
当期末残高	—	—	73	—	73

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)		当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	
1株当たり純資産額	371.51円	1株当たり純資産額	398.29円
1株当たり当期純利益	33.83円	1株当たり当期純利益	43.60円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,329	4,291
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,329	4,291
期中平均株式数 (千株)	98,426	98,426

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

①代表執行役の変動

執行役副社長 高橋 一夫 (現 代表執行役副社長)

②その他の役員の変動

・新任執行役候補

執行役 村井 秀行 (現 管理本部人事総務グループ マネジャー)

執行役 前原 健太郎 (現 馬尼(北京)貿易有限公司 社長)

執行役 稲富 健太郎 (現 営業本部営業企画グループ マネジャー)

・再選任取締役候補

取締役 高井 壽秀

取締役 齊藤 雅彦

取締役 高橋 一夫

取締役 森川 道男 (元 レオン自動機(株)専務取締役)

取締役 松田 道春 (現 松田公認会計士事務所 所長)

取締役 矢野 達司 (現 国際紙パルプ商事(株)社外取締役)

取締役 森山 裕紀子 (現 早稲田リーガルコモンズ法律事務所 パートナー弁護士)

(注) 森川道男氏、松田道春氏、矢野達司氏、森山裕紀子氏は、社外取締役の候補者であります。

・再選任執行役候補

代表執行役社長 齊藤 雅彦 (現 代表執行役社長)

執行役副社長 高橋 一夫 (現 代表執行役副社長)

執行役 松本 英夫 (現 執行役)

・退任予定執行役

高井 壽秀 (現 執行役会長)

高瀬 敏之 (現 執行役常務)

③異動予定日

2021年11月24日

(2) その他

該当事項はありません。